

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	08	項	07	目	04
事務事業名	市民ゴルフ場管理事務								
担当部署	建設部都市管理課	0610000	電話	66-4908			内線		

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	05:環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり
	施策の大綱	03:公園・緑地の整備
	施策	01:公園・緑地の整備、緑化の推進
	施策の内容	02:公園緑地の整備
根拠法令等	大仙市公園条例・大仙市民ゴルフ場の管理及び使用に関する規則	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	ゴルフ愛好家の健康増進及びプレー中の安全管理
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	ゴルフ場利用者、ゴルフ場
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①コースの見回り(安全管理) ②施設の整備(カート路、コース周辺・ティインググラウンド・フェアウェイ・グリーン等) ③芝刈り機械等の修繕
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	利用者の増及び健康増進、プレー中の事故防止

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 作業日数	日	290	287	276
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 営業日数	日	260	257	246
	② 利用者数(営業日平均利用者数)	人	12,564(48)	13,896(51)	11,427(47)
	③ プレー中の事故報告	件	0	0	0
投入コスト	決算額		35,491千円	33,896千円	28,736千円
		一般財源	0千円	0千円	0千円
			714千円	705千円	713千円
	人件費	一般職員の年間従事人数	0.1人	0.1人	0.1人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	36,205千円	34,601千円	29,449千円

事業を取り巻く環境	県内ゴルフ場連盟加盟16クラブの内、景気低迷等で11クラブの入場者数が昨年を下回っている。当ゴルフ場も積極的な誘客活動、新規コンペの獲得、早朝プレー等実施したが4月～6月は天候不順、8月の冠水、記録的な猛暑により入場数が減少している。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	雄物川河川敷のパブリックコースのため根強いリピーターも多い。天候等の理由により入場数は減少しているが、事業の維持継続は必要。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	B
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	積極的なコース整備、勧誘活動等を実施したが、天候等の理由で22年度は入場数が減少している。他ゴルフ場の動向を見ながら事業を維持継続することが必要。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	B
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	事業内容等精査し、適正な人員数、最低限のコストで事業を維持している。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	現状	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続 B 改善しながら継続 C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	現状	天候に左右される事業だが、市民ニーズや他ゴルフ場の動向に注目し、安心して利用でき、事故のない管理を継続する。